

丹波市社会福祉協議会 南部支所通信

【発行】
南部支所 Tel72-1236
南部支所山南分室
Tel77-2359

令和6年
11月号

自分事として考えてみよう

崇広小学校様からご依頼があり、10月24日、31日の二日間に分け、3年生を対象に高齢者疑似体験、アイマスク・白杖体験を通した福祉学習を行いました。

福祉教育の目的は、課題を発見して、解決するために多様な立場の人と考え、行動するための力を育むことです。他者の生活上の課題を自分事として意識し、生活課題や福祉課題に気付き、解決のために協働するプロセスが重要となります。

今回は高齢者疑似体験とアイマスク・白杖体験で高齢者と目の不自由な人の体験しましたが、できることが多くあることにも気付くことも大切です。



今回の福祉学習を終えて「身の回りにある点字ブロックなどの仕組みがどれだけ大切かわかりました。」「相手が安心できる声かけについて考えることができました。」「困っている人がいたら、自分に何ができるのか考えることが大切だと思いました。」

などの感想をいただき、私たち職員としても学びの多い機会でした。

今回ご依頼いただいた崇広小学校様、ご協力いただいた福祉学習サポーターの皆様ありがとうございました。

★柏原福祉バザーのお知らせ★

日時：令和6年11月30日（土）13：00～15：00（完売次第終了）

場所：柏原住民センター アリーナ（丹波市柏原町柏原 5528）

※柏原住民センターへのお問い合わせはご遠慮ください。

ご来場の際は上履き、買い物袋をご持参ください。

福祉バザーの収益金は地域福祉推進のために活用させていただきます。



優しい気持ちをお受け取りしました

社協では能登半島地震・豪雨災害の義援金受付を行っています。10月27日、山南町和田地区で漢方の里まつりが開催され、会場でも義援金の募集が行われており、後日集まった義援金を漢方の里まつり実行委員会（ふるさと和田振興会）若林 義之委員長よりお預かりしました。

義援金は中央共同募金会を通じて、被災者の生活再建へと活用されます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました！



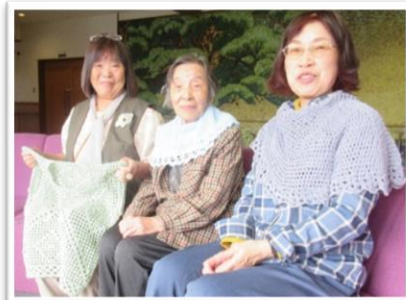
善意の糸を紡いでいく

社協では住民や企業の皆様からお寄せいただいた善意（金銭や物品）を善意銀行として、お預かりし、必要とする団体等へお渡ししたり、また福祉事業に活用しています。

先日、山南分室では手編みのベストとケープ計18着をお預かりしました。

一つ一つ丁寧に、色とりどりの毛糸で作られた作品は見ても楽しい、着ても温かいものとなっています。

後日、高齢者施設へお持ちしたところ、大変喜んでお受け取りいただきました。



（手編み作品を作られた赤永 一子さん（写真中央））

（来所にご協力いただいた田中 昭子さん（写真左）津瀬 勝代さん（写真右）） #茶話会の様子をパシャリ #ステキな笑顔

もっと身近な

“社協”を目指して…

漢方の里まつり会場では赤い羽根募金運動や社協活動、被災地支援の活動を紹介するスペースをいただき、PR活動を行いました。



漢方の里まつり実行委員会（ふるさと和田振興会）
若林 義之 委員長

『漢方の里まつりで、山南中学校生徒や振興会の役員で能登豪雨災害義援金の募金活動を行いました。東日本大震災が発生してから、漢方の里まつりで被災地への義援金の募金活動を続けています。まつりができるという事は幸せなことです。被災地を少しでも応援したいという気持ちで行っています。』

地域で広がる憩いの場

出張ふくし教室で村森ふれあいサロンにお伺いしました。

当日は脳活ゲームや座体操の紹介など、心と体を使うことをテーマに1時間ほどお話をさせていただきました。

内容をご要望にお応えできますので、実施予定の団体様ぜひご相談ください！

